

みずのめぐみ



特集

水害に備えて

私たちにできること

台風19号の影響により、
断水が続いていた
東京都奥多摩町へ
給水車を派遣し、
支援活動を行いました。



水害に備えて

台風15号(9月9日)

強風により多くの電柱が損傷し、大規模な停電そして断水が発生するなど、主に千葉県に甚大な被害をもたらしました。

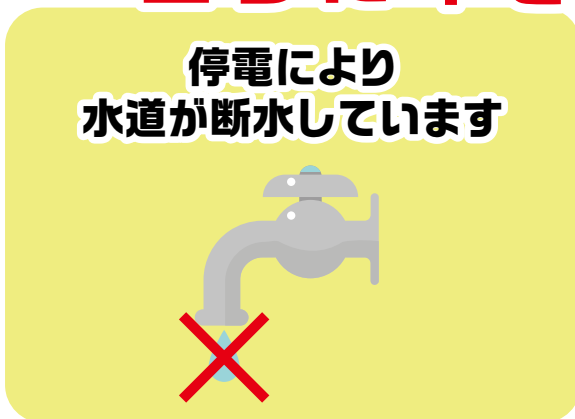
台風19号(10月12日)

大雨により幾つもの河川が氾濫し家屋が浸水、水道施設が破損するなど、関東から東北にかけて甚大な被害をもたらしました。

今もなお、元の生活に戻れない方が大勢います。



直ちに命を守る行動を!



数年前までは聞きなれなかった言葉ですが、今日では頻繁に耳にするようになりました。

自然災害は避けることはできませんが、備えることはできます。特に気象については、科学の進歩により事前にある程度の予想ができます。

水害に備えて
できることを
考えるポタ!



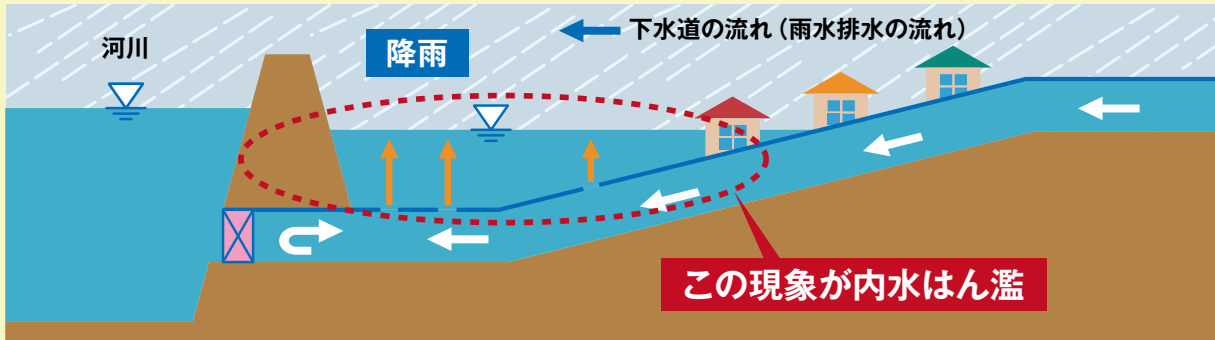
私たちが備えることは何でしょうか?

長雨と集中豪雨による内水はん濫の特徴

内水はん濫と言っても、雨の降り方次第では大きく2つの特徴があります。

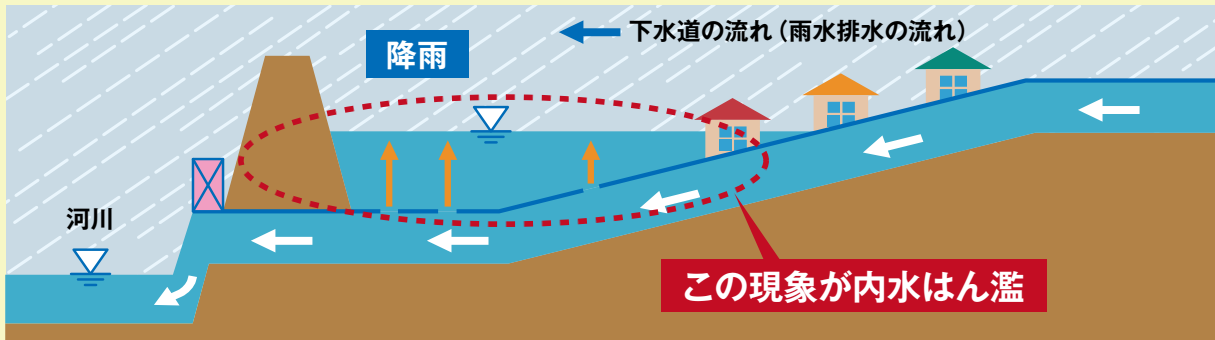
広い範囲で長時間に降る場合（台風等）

時間あたりの降水量は少ないが長時間降雨時に発生する内水はん濫はこの事例になります。
 長時間の降雨、又は、上流側での大雨により、荒川及び笹目川や菖蒲川の水位が上昇すると、河川からの水の逆流を防ぐために各排水施設のゲートを閉める必要があります。雨水排水はポンプ排水のみとなるため、ポンプ排水能力を上回る降水量が発生すると、内水はん濫が発生する可能性が高まります。



狭い範囲で短時間に降る場合（ゲリラ豪雨等）

短時間に降雨範囲が集中した大雨時に発生する内水はん濫はこの事例になります。
 河川水位はゲート位置より低いケースが多く、ゲートが開いている状態であっても、合流地区では50mm/h、分流地区では55.5mm/h以上の強さの降雨が発生した場合、雨水排水処理が間に合わなくなり、雨水枡やマンホールから雨水が溢れ、内水はん濫が発生する可能性が高まります。



ただし、線状降水帯のように長時間に大雨が降る事例や河川満潮時にゲリラ豪雨が発生するなどの場合は、上記のケースに当てはまらないことがあります。

台風19号による戸田市の被害状況



戸田公園駅バスロータリー付近



西部浄水場付近



上下水道事業
オリジナルキャラクター
シズクちゃん

下水道事業で行っている備え

台風、ゲリラ豪雨、線状降水帯・・・、近年では毎年全国で被害が出ている状況です。戸田市においても例外ではなく、道路冠水被害は増加しています。急速に都市化が進む戸田市において、どのような手法による対策が有効なのか検討し実施しています。



浸水対策実施例

調整池整備工事（消防本部南駐車場に設置）

役割：降雨による雨水を一時的に貯めることで、水路へ流れる雨水の量を減らし道路冠水の軽減を図っています。

大きさ：高さ4.35m×幅9m×奥行39m（内寸）

効果：貯留量は1,500㎡（25mプール約3杯分）あり、消防本部付近の北大通りの道路冠水の軽減

調整池の工事実施に至るまでの経緯

ゲリラ豪雨や集中豪雨によって、北大通りの道路冠水が毎年のように発生するため、雨水対策が喫緊の課題となっていました。それを解消すべく、敷地面積も広く、地中深くに構造物を設置することが可能だった消防本部の南側駐車場に調整池を作る計画を平成28年度に行い、平成29年度から平成31年度の約14カ月間をかけて工事を実施しました。



完成した調整池内部



工事の風景

●その他の浸水対策

浸透柵設置工事（平成24年度から毎年実施）

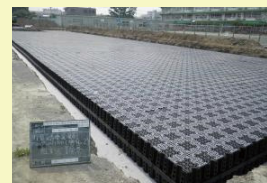
雨水を下水道管へ流している合流地域において、浸透柵を新たに設置することで、雨水の一部を地中に浸透させ、道路冠水や下水道管の負荷の軽減を図っています。

雨水貯留浸透施設設置工事

降雨時に学校のグラウンドの下に一時的に雨水を貯め（920㎡）、地中に浸透させることで、下水道管や水路へ流れる雨水の量を減らし道路冠水の軽減を図っています。

【設置場所】

- 2014年度（平成26年度）喜沢中学校
- 2015年度（平成27年度）笹目東小学校
- 2016年度（平成28年度）戸田中学校



このように様々な浸水対策を実施していますが、対策には膨大な費用と時間を要します。みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

ご家庭でできる備えとして 下水道編

雨が降っているときは、下水道の処理量が多くなります。雨水も下水道も荒川へ排水されますので、台風などの大雨時には、水の使用を控えていただくようお願いいたします。また、日ごろから自分の住んでいる場所が雨の影響をどのように受ける土地なのか、ご家族で確認しておくことも大切です。



雨水貯留施設設置の推奨

雨水貯留施設（雨水タンク）は降った雨を蓄える施設です。1つで溜められる雨水の量は200リットルと多くはないですが、皆さんでご協力いただければ相当量が貯められることとなります。また、溜めた雨水は草花への散水や災害時の防火用水としても利用できます。なお、戸田市では設置費用の半分（上限5万円）を補助する制度を設けておりますので、この機会にぜひご検討をお願いいたします。

また、すでに設置いただいているところにつきましては、雨水貯留効果を十分に発揮させるために、台風等で雨が降る前に、タンクを空にさせていただきますようご協力をお願いいたします。



道路集水柵の清掃

雨が降った時、集水柵に落ち葉やゴミが集まると、雨水排水の流れが悪くなり、道路上に水が溢れる原因となります。市でも道路清掃を行っておりますが、身近な道路の集水柵でこのような状況を見かけましたら、ゴミを取り除いていただけますようご協力をお願いいたします。



戸市内水（浸水）ハザードマップの活用

ゲリラ豪雨のように短時間で大量の雨が降ると雨水を速やかに排水することができず、一時的に道路冠水などが発生します。このような「内水はん濫」について正しい知識を身に付け、浸水被害を軽減することを目的として「内水（浸水）ハザードマップ」*を作成しています。いざというとき慌てることのないよう確認しておきましょう。



※戸田市ホームページよりご確認いただけます

<https://www.city.toda.saitama.jp/site/suidou/gesuido-naisui.html>



水道事業で行っている備え



表紙と下の写真は、昨年10月の台風19号の影響により、断水が続いていた東京都奥多摩町へ、日本水道協会からの要請を受け給水支援に行ったときの様子です。戸田市において水道施設の被害はありませんでしたが、関東から東北地方に向け、多くの水道事業者の水道施設が被害を受けていたため、各地の事業者が協力して支援活動を行いました。



給水所で給水袋に水を入れている様子。
水道の使用ができない方が、この場所へ給水袋やポリタンクを持って訪れます。



給水車に水を入れている様子。



水害にも水道施設の耐震化が有効

①古くなった水道管は大きな地震や水害による地盤変動に耐えることができず、破損して漏水する恐れがあります。水道管が漏水すると修理が完了するまでに時間がかかり、長時間水が使えない状況になることがあります。

②戸田市で管理している浄水場は3箇所。水道管は約320キロメートルにもおよびます。これら水道管の耐震化率は現在約50パーセント。みなさまが安心・安全に水道水を使用できるようにし続けていくためには、浄水場設備の更新に加えて、将来発生する可能性のある地震や水害に対応できるよう耐震性の高い施設、水害にも対応できる施設にしていく必要があります。

そのために必要な費用は、皆さまからの水道使用料や将来にわたる借金により捻出することとなります。そこで上下水道部では、常に安全で安定的な水道水をお届けするために、「戸田市水道ビジョン2014（改訂版）」※において「水の未来をより良いものへ…戸田市の水道」を将来像に、安全、強靱、持続の3つの目標の実現に向け事業を進めています。

水道事業を持続させていくために、みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。



※戸田市ホームページよりご確認ください

<https://www.city.toda.saitama.jp/site/suidou/sui-gyomu-suidou-vision.html>



ご家庭でできる備えとして 水道編

台風や豪雨、雷雨などの影響により電気設備が被害に遭い停電が発生した場合、浄水場も機能が停止もしくは低下することもあります。

万が一に備え、トイレなどの排水用にお風呂に水を貯めておくこともひとつの備えです。



災害時の備えとして、1日1人3リットルを3日分確保することが目安とされています。

戸田市上下水道部では、戸田市の深井戸の水をペットボトルに入れて販売しています。その名も「戸田の水来」(500ミリリットル)

製造日から5年間の長期保存が可能となっておりますので、この機会にご家庭に「戸田の水来」を備えておくことをお勧めします。



(注意1) 配送は原則行っておりませんのでご了承ください。

(注意2) 1本あたりの値段は各小売店にて異なります。

販売場所

戸田市観光情報館トピック (戸田公園駅前行政センター 2階)

戸田市立心身障害者福祉センター 1階自動販売機

臼田屋酒店自動販売機

戸田市内のファミリーマート19店

新曽南庁舎1階自動販売機

新曽南庁舎4階 ケース販売はここだけ ※1ケース (24本入り) : 2,100円 (税込)

3月31日 今なら本誌を見て、新曽南庁舎で1ケースご購入いただいた方へ
まで 上下水道部オリジナルクリアファイルをプレゼント!



「戸田の水来」とは

「戸田の水来」の水は、戸田市内に10ヶ所ある「深井戸」のうち、第5号取水井から採水した戸田の地下水です。井戸の深さは、250メートルです。11トンのタンクローリーで採水後、工場へ運び、高熱のスチームで瞬間熱消毒を行っています。

水道水との違い

皆さんのお宅の蛇口から出る水道水は、深井戸の水と埼玉県の浄水場から送られてくる水(県水)を2:8の割合で混ぜ、塩素で消毒して配水しています。その点、「戸田の水来」は県水も混ぜておらず、塩素消毒のない、純粋な戸田の水であると言えます。また、安全性にも十分配慮し、深井戸の水の検査、食品衛生法で規程される検査を実施し、合格しています。

「戸田の水来」と書いて、「とだのみらい」と読みます。この先も、市民の方へ安心・安全な水を、未来まで届けられるように、との意味が込められています。

**ご意見
募集**

「戸田の水来」をより親しみやすくするためにみなさまのアイデアをお聞かせください。メール・手紙・電話・窓口など、どのような方法でも!

【お問い合わせ】
戸田市上下水道部

〒335-0026 戸市新曽南3丁目1番5号 戸田市役所新曽南庁舎4階
☎048-229-4606 FAX048-444-1609 E-mail sui-gyomu@city.toda.saitama.jp

News & Topics

戸田市上下水道部からニュースとお知らせ



10/5

土

荒川・下水道フェスタ
2019に
出展しました

安全で快適な生活に欠かせない下水道への理解と関心を深めていただくため、毎年荒川水循環センターで開催されている「荒川・下水道フェスタ」に、広報活動の一環として、ぼたりん釣りの出展とデザインマンホールの展示を行いました。多くの子どもたちに参加いただき大盛況でした。



展示された
デザインマンホール

10/14

祝

月

サッカー大会「戸田の水来杯」
第18回ちびっ子カップ
(U-8育成大会)

スポーツセンター陸上競技場内で、少年少女サッカー大会「戸田の水来杯」が行われました。あいにくの空模様でしたが、スーパープレイが飛び出すなど熱戦が繰り広げられました。



水道・下水道のお問い合わせは

戸田市上下水道部お客様センター



使用開始



使用停止



料金



検針

TEL 048-229-4318
FAX 048-432-7396

受付時間 平日午前8時30分から
午後5時15分まで



水道の使用開始・中止の手続き (スマホでの手続き可)

URL <https://www.city.toda.saitama.jp/site/suidou/sui-gyomu-suido-tetuduki.html>

引っ越しをする方へ

市民課のお届けと一緒に
水道の手続きもお忘れなくお願いします。

編集・発行

戸田市上下水道部

〒335-0026

戸田市新曽南3丁目1番5号 戸田市役所新曽南庁舎4階

☎048-229-4606 FAX048-444-1609



URL <https://www.city.toda.saitama.jp/site/suidou/>

